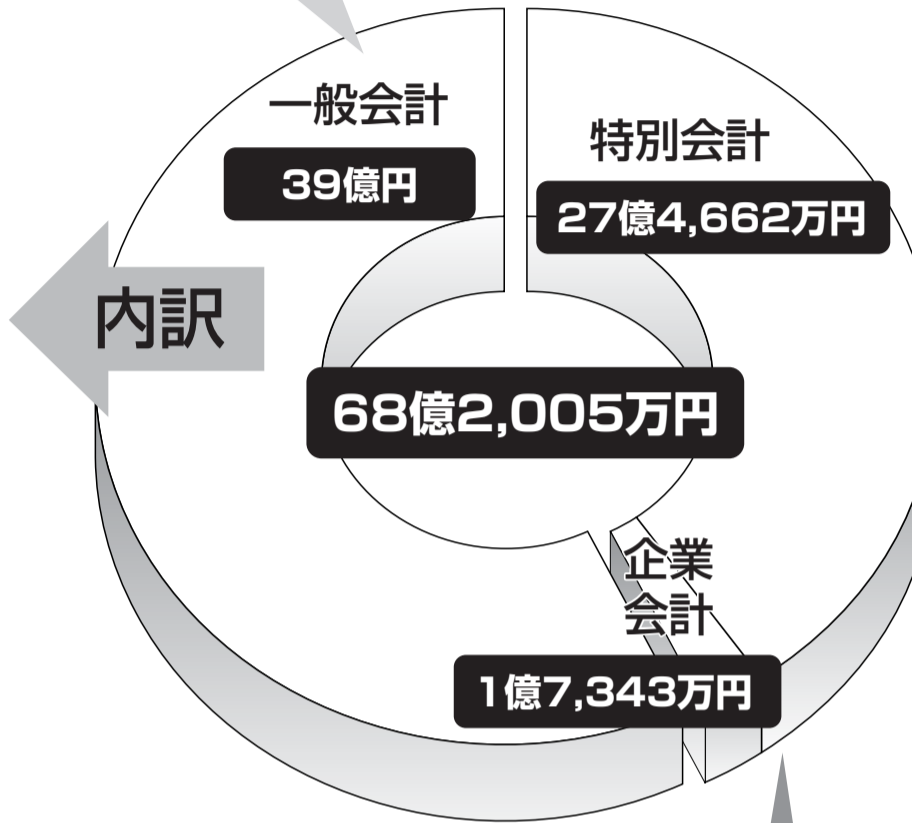


総額 68億2,005万円 スタート 〈前年比2.0%減〉

24年度は松田町第5次総合計画の2年度目として、この計画に位置づけられた、「定住促進」のための予算を積極的に計上しています。

24年度の一般会計と国民健康保険事業特別会計など7つの特別会計、それに上水道事業会計の企業会計を合わせた予算総額は68億2,005万円です。前年度と比較すると、1億3,688万円、率にして2.0%の減額となっています。このうち一般会計だけを見ると、39億円で、前年度と比較すると、6000万円、率にして1.5%の減額となっています。

※金額は1万円未満を四捨五入しているので合計値が一致しない場合があります



区分	予算額	前年比較
①一般会計	39億円	△1.5%
②特別会計	小計 27億4,662万円	△1.4%
国民健康保険事業特別会計	13億1,349万円	2.3%
国民健康保険診療所事業特別会計	9,098万円	△0.3%
寄簡易水道事業特別会計	3,191万円	△7.6%
下水道事業特別会計	3億6,923万円	△0.8%
介護保険事業特別会計	7億8,761万円	△1.2%
用地取得特別会計	967万円	△87.6%
後期高齢者医療特別会計	1億4,373万円	11.4%
③企業会計 上水道事業会計	1億7,343万円	△17.5%
合計①+②+③	68億2,005万円	△2.0%

Q & A

Q 一般会計、特別会計、企業会計ってなんですか？

A 町の仕事はみなさんが支払っていただく税金で賄うのが基本となります。

一般会計は、それに国や県からの交付税、支出金を加えてさまざまな事業に振り分けるものです。

一方、健康保険や水道などについては、主に加入している人からの保険料や水道料金などの収入で賄っています。このような税金以外の収入で賄う事業などを、一般会計とは別にしたものが、特別会計、企業会計です。

特別会計と企業会計

国民健康保険事業特別会計

13億1,349万円 (前年対比 +2.3%)

団塊の世代の加入による急激な高齢化や医療の進歩などで医療費は増加の一途をたどっており、財政運営は極めて厳しい状況にあります。安心して医療が受けられるよう事業を運営します。

国民健康保険診療所事業特別会計

9,098万円 (前年対比 △0.3%)

地域医療の向上に努め、初期医療施設としての機能拡充と診療体制の充実を図ります。

寄簡易水道事業特別会計

3,191万円 (前年対比 △7.6%)

寄地区の簡易水道事業に要する経費で、配水管敷設替え工事を順次進めます。

下水道事業特別会計

3億6,923万円 (前年対比 △0.8%)

生活環境の向上と河川環境の保全に向けて整備を進めています。23年度までの公共下水道認可区域内の整備率は89.6%、引き続き未整備地区を整備する予定です。

介護保険事業特別会計

7億8,761万円 (前年対比 △1.2%)

介護が必要となったとき、安心して利用できるよう適正な運営を行います。要支援・要介護状態になることを予防し、地域における包括的・継続的な取り組みや支援を強化した事業を実施します。

用地取得特別会計

967万円 (前年対比 △87.6%)

公共用地を取得するための会計で、用地取得や建物などの物件損失補償が主なものです。本年度は、前年度に引き続き中里地区の公共用地取得の予算と、前年度に旧足柄家畜保健衛生所跡地購入資金を借り入れた町債の利子を計上しています。

後期高齢者医療特別会計

1億4,373万円 (前年対比 +11.4%)

神奈川県後期高齢者医療広域連合が保険料額の決定や医療の給付などを行い、町は申請や相談などの窓口事務や保険料の収納を行います。

上水道事業会計

1億7,343万円 (前年対比 △17.5%)

安全な水を安定的に供給するため、老朽化した配水管の敷設替え工事などを実施します。